



Waltz for Light Window / Furniture

楽しい光りのワルツ奏者：窓、家具

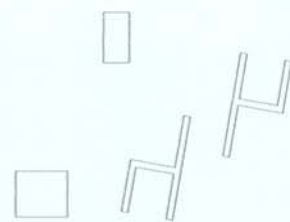
壁から机や椅子を取り出す。壁には家具の形をした色々な形の窓があく。毎日の生活の中であらわれては消える、家具と窓。光と影。

同じような毎日でもあらわれる光の形、タイミングは少しずつ変化し、私たちを楽しませてくれるだろう。即興のワルツのように。

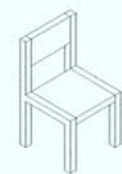
外側をガラスに覆われた木箱のようなシンプルな生活空間を考えた。使われていない時、この空間には窓も家具も無い。壁にはめ込まれている家具の脚、天板をはずし、組み立てることでこの空間は生活空間へと変わる。その際、壁にできた開口がそのまま窓となり、生活空間を照らす。そして一日の終わりにはすべての家具は片付けられ、生活空間は再び何も無い空間へと還る。

日々の暮らしにユーモアと変化に満ちた光と影を。

壁から部材をとりはずし家具を組み立てることが出来る。部材の形は開口として機能する。



色々な形の窓



組み立てられた家具

抽象的でリズムカルな開口を目指し椅子、テーブル、食器などを壁面に分散するよう散りばめた。

